

『パレスチナの事を勉強してみませんか？』

令和6年1月21日(日)
時間：15時～17時
会場：結びの家
主催：藤野倶楽部

藤野倶楽部

講演者 プロフィール紹介



【ジャーナリスト】

パレスチナ渡航歴25年(70回以上)

『ガザ一人間の壊し方(【世界】岩波書店/2004)』、『ハマスの6ヶ月一民主主義が瓦解する(【世界】/2006)』、『誰が、得をするのかー「ガザ戦争」長期化の理由(【世界】/2014)』など、パレスチナと援助、対テロ戦争との関連性等についての論考を20本以上寄稿

小田切氏のコメント

「イスラエルが、ガザ地区を壊滅的な状況まで追い込む目的は、ハマスを掃討だけなのだろうか。

その深部に『住民の自主的退避=ガザ地区の切り離し』を据えると、これまでの政策や軍事行動が、一枚の絵図のように繋がってきます。

ガザ地区とは何か、どう対テロ戦争と関連付けられるのか？

いま、衆人環視のもと何十万人もの人が何十キロも徒歩で「避難」しています。

マスメディア、国連、NGOがありながら、行われてはいけないはずのことが毎日行われています。

なぜ、止まらないのでしょうか？
どうしたら解決するのでしょうか？

私たちに何ができるのか。ただ見ているだけでいいのでしょうか？

求めることは、停戦じゃない。解放です。」



写真

← 試合のためガザから出て西岸に向かうガザのサッカー選手たちと。ガザに入るイスラエル側の検問にて撮影